

地域包括ケアシステムの構築について

○団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制(地域包括ケアシステム)の構築が必要**

→ 地域包括支援センターが拠点

○今後、**認知症高齢者の増加が見込まれる**ことから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、見守り体制を含む地域包括ケアシステムの構築が重要

→ 地域包括支援センターのコーディネートによるネットワークづくり

地域包括ケアシステムの姿

